第1章 沿革と目的

平成5年11月の史跡松江城環境整備指針策定後の諸課題をクローズアップして、その解決への展望を明らかにし、今後の史跡の保全と管理に万全を期するとともに、歴史公園としての活用を図るための諸整備を推進することを目的に、「史跡松江城保存活用計画」を定める。

第2章 史跡松江城の概要

- ・松江城を取り巻く環境（歴史環境、自然環境、社会環境）
- ・土地利用状況
- ・調査（発掘）と保存（現状変更、修理、整備）の経過
- ・公開・活用の現状

第3章 保存・管理

第1節 基本方針

（1）史跡松江城の特性

- ①歴史的・文化的資源である貴重な文化財
- ②松江市の都市構造の核
- ③様々な都市機能を有する空間

（2）保存管理の基本方針（要点）

- ①史跡松江城を構成する本質的価値の把握、特定した松江城を構成する諸要素の保存・継承
- ②松江城の価値を明らかにする調査研究の推進とその成果に基づく保存・公開・活用
- ③都市構造の核を顕在化させる眺望の確保、文化財保護と都市計画等の一体となった環境づくり
- ④現状保存と整備活用を区分した文化財価値や歴史的景観の保全、植生管理、公園機能の充実
- ⑤将来にわたり適正に保存・管理するための仕組みや体制の構築と具体的取組内容の明確化

第2節 構成要素と保存・管理の方法

（1）本質的価値を構成する諸要素

⇒ 改変することなく確実に保存

- ①城郭を構成する歴史的建造物＝天守、②縄張・城郭を構成する石垣・堀等
- ③地下に埋蔵されている遺構・遺物、④近世から続く植生

（2）近代以降の松江城の歴史的価値を構成する諸要素

⇒ 適切に維持管理して保全

- ①興雲閣、②松江神社
- ③皇太子嘉仁親王・裕仁親王御手植えのマツ、秩父宮雍仁親王御手植えのイチヨウ

（3）本質的価値と密接に関わる諸要素

- ①復元的施設（復元建造物・復元風建造物）⇒ 復元櫓は天守と一体的に保存
- ②遺構平面表示 ⇒ 良好な状態で維持管理、破損等は速やかに復旧
- ③説明施設等 ⇒ 良好な状態で維持管理、整備の進捗に応じて更新、破損等は速やかに復旧
- ④防災設備 ⇒ 定期的な検査等により確実な作動を確認
- ⑤利活用施設・管理施設・公園設備・大手・橋 ⇒ 機能を果たすように維持管理、更新や再設置
- ⑥植生、修景・公園植栽 ⇒ 公園的地域は散策路の目的を阻害しないように管理

（4）その他の諸要素

- ①記念植樹、竹林 ⇒ 自生木は早い段階で除去、竹林は林分の縮小を検討
- ②石碑類 ⇒ 史跡と関わりない石碑類は史跡地外への移転等を検討
- ③宗教施設 ⇒ 宗教活動の場として尊重、④個人住宅 ⇒ 史跡指定地拡大と公有地化

第4章 活用・整備、第5章 保存活用計画の推進体制、第6章 今後の課題と方向性

（1）活用の基本方針

- ①旧城下町の核として松江城の全体像をより深く理解できるような調査研究体制の強化と継承
- ②史跡の普及・啓発活動の推進と情報発信
- ③地域と連携した多面的活用の推進
- ④誰にでもわかりやすく体感できる松江城

（2）整備の基本方針

- ①保存のための整備の推進
- ②史跡の価値に基づく整備
- ③公開活用のための施設の充実
- ④都市構造の核として松江城の全体像を理解できるような整備
- ⑤市民の憩いの場、公園としての環境整備
- ⑥歴史的環境と自然環境が一体となった景観の保全

史跡松江城地区区分図

本質的価値を構成する諸要素